

こどもニュース&スポーツ

香川のこどもを応援します

NEWS & SPORTS FOR KIDS



海の大切さを再認識

海岸や山林で16人が学習

子どもたちが香川の海洋問題や海を守る対策について学習・体験し、自分たちができることを考えるイベント「かがわseaマスター 海のええもん見つけ隊」が9月10、11の両日と10月22日に東かがわ市のソルトレイクひけたと丸亀市の綾歌森林公園、三豊市の津嶋神社海岸などで開かれました。日本財団が推進する「海と日本プロジェクト in かがわ」の一環。隊員に選ばれた県内の小学5、6年生計16人は、藻場に生息する生き物の観察や山林でのフィールドワークなどを通じて、海や森など自然が全てつながっていることを学びました。また、自分たちが感じたこと、学習したことをオリジナルの「せとみ新聞」に仕上げました。今回は「藻場について」「ハマチの養殖」「海の環境」、10日は「森と海のつながり」がテーマです。



藻場の状況などについて話を聞く隊員たち



かがわseaマスター 海のええもん見つけ隊

藻場は稚魚の「ゆりかご」

外敵から守ってくれる

海のええもん見つけ隊のメンバーは9月10日、東かがわ市のソルトレイクひけたで、県の担当者から藻場について話を聞きました。藻場には海草など海の植物が森林のように生い茂っている場所のこと。香川県で代表的な海草はアマモで、穏やかな内湾の水深1〜数メートルのところに生えています。

藻場には稚魚が住み、卵が産みつけられていることが多いそう。理由は、海草がたくさん生えている所には、大きな魚など外敵が入ってくるのが少ないからです。外敵から守っていただける場所なので、藻場は「海のゆりかご」とも呼ばれています。



藻場に生息する生物を探し、観察する隊員たち

しかし、埋め立てや環境の変化などで、藻場は昔と比べて大幅に減少しています。そこで、香川県は藻場を守るために、アマモの種をまいて増やす取り組みをしてきました。これから海岸に行った時は、海草を抜くなど魚のすみかを壊さないように気を付けます。

2日目は三豊市の津嶋神社海岸で、藻場に生息する生物の観察です。里山ガイドの担当者の指示を聞きながら、ライフジャケットを着用して海岸に入りました。「意外と藻場が少ないなあ」と思っていたら、ガイドさんが「9月上旬の台風の影響で、多くの海草などが流されたんだよ」と教えてくれました。

班ごとに分かれて、海の生き物たちを探してみると、カニやエビ、小魚のほか、エイが掘った穴なども発見できました。藻場には小さな生き物の避難所の役割を果たし、多くの生き物のすみかになっていることを改めて実感しました。この海岸は山がすぐ近くにあり、栄養豊富な水が流れ込むことなどから、海の生き物たちがたくさんいる豊かな干潟が保たれているそうです。

2日間の体験を通して、藻場の大切さ、生活の全てが海につながっていることなどを学ぶことができました。これからは、海の生き物たちを守るためにできることを意識しながら、生活していきたいです。



隊員たちは9月10日、養殖ハマチの発祥の地・東かがわ市引田で、ハマチの養殖について学びました。引田のハマチの養殖には、大きな特徴が二つあります。一つは、いけすの大きさ。縦・横が25メートル以上、深さは20メートルもある大きないけすで育ったハマチは、たくさん泳いで動けるので成長も良く、脂がのっておいしくなるそうです。

二つ目は餌。オリブの葉の粉末を餌に加えて飼育する「オリブハマチ」は、オリブに含まれる抗酸化作用の強いポリフェノールの効果で、血合いがきれいになります。また、新しい餌は通常の餌と比べ、少ない量でハマチが大きく育つため、食べ残しやふんが少なく、環境に優しいことが分かりました。

養殖場で餌やり体験をした後は、オリブハマチの解体ショーです。始めに、担当者が三枚におろす包丁さばきを披露。ヒレを目印に包丁を入れることや、魚をさばいた際に出る血液などは臭いの原因になるので、まな板はこまめにふくことなどを教わりました。隊員たちは、丁寧に切り分けてもらったハマチをおいしくいただいた後、担当者と一緒に順番に包丁を入れて三枚おろしにも挑戦しました。おいしいオリブハマチができる

試験管の中に試薬を入れ、色の変化などを観察する隊員たち



餌工夫し環境に配慮 大きないけすでハマチ養殖



ハマチに餌を与える隊員たち

隊員たちは2日間の学習で、瀬戸内海の環境や特徴などを学びました。初日の10日は、県環境保健研究センターの主席研究員、2日目の11日は多度津高校の先生がそれぞれ講師を務め、水質の検査や瀬戸内海の現状などについて話を聞きました。

瀬戸内海は浅い海で、水温などの環境が変化しやすいという特徴があります。夏の海水温は30度近くになり沖繩の海より熱く、冬は10度を下回り北海道の海より冷たくなるともあ

海水が循環しにくい瀬戸内海 汚染進むと回復に時間

までには、いろいろな人が工夫や努力を重ねていくことが必要です。

こどもアート&カルチャー

音楽

■第38回香川ジュニア音楽コンクール ピアノ部門 (9月17日・穴吹学園ホール)

【高校B】金賞 高木大貴(高松2年) 瀬良杏奈(坂出2年)▽銀賞 大塚海里(坂出1年) 桑島恋音(高松1年) 後藤真結(同2年) 川崎彩花里(坂出1年)▽銅賞 和田玲花(高松1年) 清水佐

出 永井さくら(同)▽銅賞 富田有紗(高松1年) 【同3年】金賞 牛野門香(高松1年) 青柳朱音(同)▽銀賞 吉田葉香(坂出) 桑原明(同)▽銅賞 竹内悠紀乃(坂出) 藤本巴都(英明) ■同・打楽器部門(10月8日・穴吹学園ホール) 【中学校の部】銀賞 坂本百々佳(香川1-2年) 【高校の部】銀賞 高松天羽(高松1-2年) 川崎葉々美(英明1年)▽銅賞 広瀬唯衣(高松1-2年) ■同・金管楽器部門(10月8日・穴吹学園ホール) 【中学1年】金賞 上枝千夏(古高松)▽銀賞 白川愛花(古高松) 松井昌紀(牟礼)▽銅賞 太田莉緒那(牟礼) 豊島紗和(香東) 【同2年】銅賞 川島遼大(紫雲) 【同3年】金賞 植村菜央(龍雲)▽銀賞 川西莉奈(香東) 藤川珈奈(一宮)▽銅賞 能田かのん(龍雲) 堤田琴華(宇多津)

【高校1年】銀賞 田岡茉奈(高松1)▽銅賞 平尾紗彩(高松1) 【同2年】銀賞 伊沢周杜(高松1) 宮下優(坂出)▽銅賞 真鍋圭太郎(高松1) 【同3年】金賞 木村奈緒(高松1) 松岡優輝(同)▽銀賞 岡田佳子(坂出)▽銅賞 加地成海(三島) 先馬葉々穂(高松1) 鎌田奈那(同) ■同・弦楽器部門(10月8日・穴吹学園ホール) 【幼児の部】銀賞 菊地結大(横浜みずほ幼稚園) 【小学校低学年】銀賞 武田結楓(付属高松2年) 【同中学年】銀賞 常谷奏介(古高松南3年) 十川瑠璃(多肥4年)▽銅賞 渡辺ちより(苗羽4年) 矢野幸太郎(亀阜3年) 山地慧祐(栗林3年) 【同高学年】銀賞 河原撫子(付属高松6年) 脇詩央里(亀阜5年) 【中学校】金賞 川西啓太郎(紫雲1年) 幡夕衣(勝野1年)▽銀賞 平井裕啓(桜町3年) 神垣季明(太田2年) 運

井智貴(付属高松3年) 泉葉李奈(香川誠陵2年) 【高校】金賞 小郷希奏(坂出3年) 十河日奈子(高松1-2年)▽銀賞 熊井久敏(目黒日本大学3年) 河原桜子(大手前高松2年) 辻優花(高松1-3年) 西尾結風(同2年) 大山のり子(坂出3年) 玉城叶環(同2年)▽銅賞 蓮井遥貴(高松西2年) 高橋さくら(高松1-1年) ■同・木管楽器部門(10月9日・穴吹学園ホール) 【小学高学年】金賞 曾我真理愛(新番丁6年)▽銀賞 森川雄司(水上5年) 多田智晶(古高松南6年)▽銅賞 石川輝良理(太田南4年) 吉田夕雁(付属高松4年) 阪東玲唯(高松中央5年) 【中学1年】銅賞 田中沙樹(新居浜北) 石川愛理(太田) 【同2年】金賞 岡田悠雅(古高松)▽銀賞 玉岡璃子(古高松) 北岡真依(高松1) 川西琢仁(古高松)▽銅賞 山本太郎(中村) 田中千歳(三木) 白井結(付属高松) 【同3年】金賞 山本花乃(中村)▽

銀賞 中村華也(牟礼) 山地彩葉(木太) 高下真智(龍雲) 久保文香(牟礼)▽銅賞 三谷悠太(古高松) 阪本煌太(宇多津) 大原優月(玉藻) 【高校1年】金賞 柏木一颯(高松1)▽銀賞 川原愛莉(坂出) 谷本初寧(高松1) 十川絢羽(坂出) 石橋奏(同) 古川瑛菜(高松1)▽銅賞 犬伏由奈(坂出) 小村萌恵(高松1) 吉田雪乃(坂出) 石川七虹(同) 【同2年】金賞 森愛理(坂出)▽銀賞 森美月(NHK学園) 和田理沙(坂出)▽銅賞 千田あす真(高松1) 金岡夏希(坂出) 堀江柚月(高松1) 岡本麗生(同) 西村ひより(坂出) 橋本珠(同) 渡辺琉叶(高松1) 【同3年】金賞 山本涼音(高松1) 迎優成(同)▽銀賞 住友愛菜(坂出) 西山乃絵(同) 岸田結花(高松1) 岡西泉美(坂出) 小島幸子(同) 大泉彩愛(高松1)▽銅賞 横田理音(高松1) 田中千愛(同) 佐藤紡音(坂出) 谷本蒼(高松中央)